

教科名〔 公民 〕

科 目 名	単 位 数	学 年 ・ 組	担 当 者 名
現代社会	2 単位	1 年全クラス	＊

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	日本、身近な地域、世界の主な国の位置など基本的な地理の知識を学ぶ。 自己形成の課題と青年期について学習し、自分自身の生活、生き方について考えさせる。 資源・エネルギー、環境、南北問題など現代の社会がかかえる様々な問題について、学習し、それに対して自分たちは、どうしていけばよいか、考えさせる。
使用教科書・副教材等	東京書籍『現代社会』 二宮書店 高等地図帳 改訂版 プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 1．学習活動 の特記事項 2．副教材の 使用など	考 査 範 囲	評価の観点の ポイント				
						態 度	関 心 ・ 意 欲	思 考 ・ 判 断	技 能 ・ 表 現	知 識 ・ 理 解
第 1 学 期	日本の地理 自分たちの身近な地域	4 ・ 5	日本の都道府県、県庁所在地、各府県の特徴などの項目を地図帳で確認し、基本的な地理の知識を身につける。 方位や地図記号など、地図を利用する際の基本的な知識を身につける。 自分たちの住む地域の特色を学ぶ。	地図帳の基本的な使用方法を学ぶ。 地域の特色を知る。 地図帳、プリント使用	第 1 学 期 中 間 考 査	○	○	○	○	○
	世界の地理 現代の社会生活と青年 現代社会の特質と私達の生活	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	世界の主な国名・都市名・山地山脈・川・湖沼・気候などの基本的な項目を地図で確認し、基本的な世界の地理の知識を身につける。 世界と日本のつながりについても考えさせる。 青年をとりまく現代社会の特質について学ぶ。 情報化、国際化、少子高齢化などについて、学び、自分たちの生活への影響について、考えさせる。	地図帳を利用し、世界地理の基本事項を学ぶ。 自分たちの暮らしが世界と結びついていることを理解させる。 現代日本の特徴を理解させる。 地図帳、プリント使用	第 1 学 期 期 末 考 査	○	○	○	○	○
第 2 学 期	現代社会の青年の生き方 よりよく生きることを求めて	9 ・ 10	青年期の特徴を学ぶ 青年期の課題を考え、大人になることの意味を考えていく。 先人たちの思想を一部取り上げながら、よく生きることの意味を考える。 日本人のものの考え方、日本文化の特徴に触れる。		第 2 学 期 中 間 考 査	○	○	○	○	○

	資源・エネルギー問題 環境問題 科学技術の発達と生命	10 ・ 11 ・ 12	現在の天然資源の埋蔵量や各国のエネルギー消費量の状況、原子力発電、クリーンエネルギーなどについて学習する。 地球温暖化、オゾン層破壊、砂漠化、酸性雨などの環境問題について学習する。 医療技術の発達と生命倫理、バイオテクノロジーなどについて、学習する。	新聞記事やニュースなどを積極的に利用する。 自分たちに何ができるか、考えさせる。 プリント、新聞記事など使用。	第2学期期末考查	○	○	○	○
第3学期	国際社会と人類の課題 核兵器と軍縮 民族問題と紛争 地球人として－日本の役割－	1 ・ 2 ・ 3	グローバル化についてその問題点などを学習する。 戦後の核兵器、軍縮の動きについて学習する。 人権の国際化の動きを学習する。 NGOの活動などを取り上げながら、世界の中で、日本の果たす役割を考える。	新聞記事やニュースなどを積極的に利用する。 現代の世界情勢を理解させながら、日本の役割を考えさせる。 教科書、プリント、新聞記事など使用	学年末考查	○	○	○	○
【1・2・3学期における課題・提出物等】 プリント、授業ノートを提出させる。各長期休暇には、課題を課す。									
【1・2・3学期における評価方法】 定期考查の点数を評価の軸とする。 プリント、ノートなどの提出点、課題の提出、基礎学力テストなどを平常点として定期考查に加味して、総合的に評価する。									